

8.報告③

— Tesco Dairy Centre of Excellence —

【報告者】

雪印メグミルク株式会社 常務取締役執行役員酪農部長 小板橋 正人
森永乳業株式会社 執行役員酪農部長 東倉 健人

- リバプール大学と英国大手流通TESCOが協働して設立
- 量販店が乳業を飛び越えて直接生産者の困り込みとコスト管理まで及ぶビジネスモデルを構築
- 当センターは乳質、家畜の健康やウェルフェア等から、生産効率性、環境までを評価する仕組み（QVIS）を作成し、これを指導する機関としての位置づけ
- 設定される買い取り乳価は生乳生産コストと同等
- 乳価設定に酪農家を加えることで、TESCOとしては酪農家からの買い取り乳価の公平性を主張



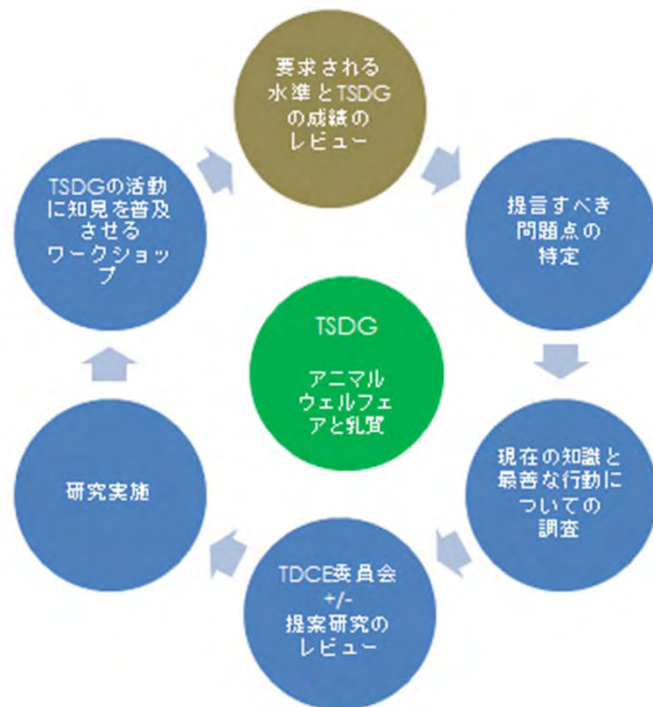
②プレゼン資料－1

－Tesco Dairy Centre of Excellence－

1



3



2

TDCEの設立趣旨

- TDCEにおいて、家畜の健康及び生産性の改善、経済効果の向上につながる管理手段を研究する。
- TSDGの持続性は次の4つの主要分野で効果を発揮する。
 - － 乳質
 - － 農場経営の効率性
 - － アニマルウェルフェア
 - － 環境

4

主要分野におけるプロジェクト①

- 乳質
 - －乳房炎ワークショップ
 - －抗生物質の責任ある使用に関するアドバイス
 - －ヨーネ病のモニタリングとコントロールに関する成功事例
- 農業経営の効率性
 - －発情期及び発情発見システムの有効性
 - 繁殖性ワークショップ
 - －長期不受胎牛の処置
 - －子牛育成プロジェクト
 - －肝蛭感染の発見及び制御指導
 - －搾乳牛への雌雄判別精液の活用 —現在進行中

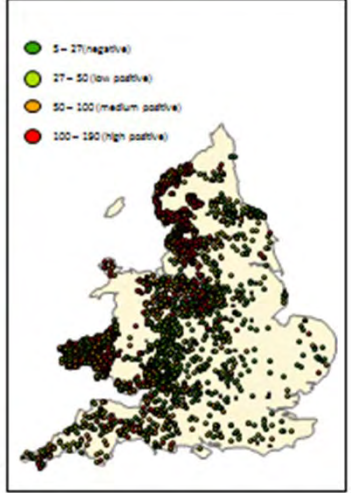
5

主要分野におけるプロジェクト②

- **アニマルウェルフェア**
 - 趾皮膚炎
 - > 様々な蹄浴薬液の試験利用
 - > 自家ワクチン
 - 牛の個室選好度調査 — パスチャーゲルマット対 Kraiburg K Plus
 - 分娩後50～100日での早期削蹄及び動きやすさ
- **環境**
 - 農場でのメタンガス排出量測定
 - TSDG環境指導書の更新

6

プロジェクト例 乳牛群における肝蛭への暴露有病率



7

TSDG農場の 郵便番号エリア別 肝蛭感染の強度

郵便番号エリア別平均強度:

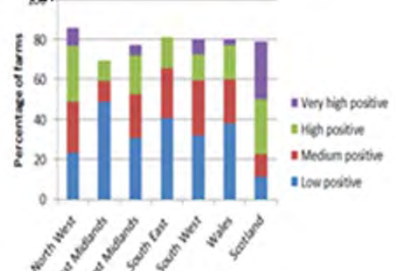
- High
- Medium
- Low
- Negative



8

TSDG牛群における肝蛭

- 606牛群からのバルク乳を検査
- 合計484牛群 (80%) が感染 (陽性反応)



生乳生産への影響

- 肝蛭感染率の高いTSDG牛群では低感染率牛群に比べて生産量は減少していた。その量は、
1,140リットル/年/頭
34,000ポンド/年/100頭
- 繁殖性、草地品質及び降水量を考慮に入れても影響は残っている。
- 体細胞数、細菌数、繁殖性及び乳成分値については顕著な影響は見られなかった。



この後のプロジェクト

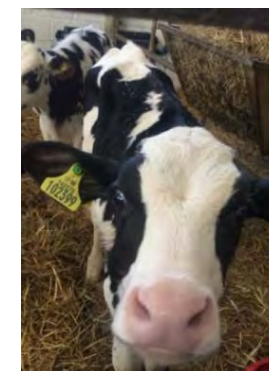
- 雄子牛を減らすための雌雄判別精液の使用
- 抗生物質使用の削減
- シミュレーターを使用した分娩管理などの酪農家トレーニングを介したアニマルウェルフェアの向上
- TSDGデータの分析による主要課題の特定（抽出）
- サプライヤーネットワークサイトや年次総会を介した酪農家からの情報収集
- 政府や業界関係者との取り組みを介したホライゾンスキューニング（将来研究）



研究所内を丁寧に説明して下さったTESCO酪農研究所のロブ・スミス氏。



研究所の牛舎前にて説明を受ける調査団。



人懐っこい仔牛。

②プレゼン資料－ 2

－ Tesco Sustainable Farming Group - Dairy －

1

TESCOの持続可能な営農グループ - 酪農



TESCO
Every little helps!

3

Where are we?

- 基本的な保証
- 小売同盟基準 (Align契約の基準)
- より安定的な対策強化とコンプライアンスの導入
- TSFGの幅広い生物種間の開発
- 消費者への認識を構築



TESCO
Every little helps!

2

本日のアジェンダ

- TESCOのバックグラウンド
- TSDGの説明
- QVISのバランススコアカード
- 消費者とのコミュニケーション



TESCO
Every little helps!

4

TSDGとは

- TSDGにおける年間契約及び季節契約の農家
- Promar社 (コンサルタント) が全ての生産コスト情報データを収集
- QVISについて
- 契約報酬と経営改善
- 3ヶ月毎の乳価改定



TESCO
Every little helps!

5

QVISバランススコアカードとは

- 2016年9月採用
- アニマルウェルフェアと家畜の健康-DHI
- 生産効率-カーボンフットプリント
- 持続可能性
- 消費者



6

農業経営者のための公正取引保障



「私たちは英国の酪農家の未来をサポートするために、公平な乳価を支払います」



7

牛乳乳製品エリアの床にビニールポスターを設置



Tescoのキャッチコピーである“Every little helps”にかけて、牛乳の容量単位である“pint（約500ml）”を使用してる。



8

牛乳乳製品売場内でのプロモーション



Every pint helps

Guaranteed fair pay for farmers
Guaranteed 100% British milk
Guaranteed care for every cow

①酪農家にとって公平な代金を保障
②100%英国産のミルクであることを保障
③全ての牛へのケアを保障

Every pound* you spend on milk helps pay farmers a fair price

35p goes to supply chain, processors and Tesco
65p goes to our dedicated British dairy farmers

「あなたがミルクに付けるあらゆるポンドは、酪農家への公平な価格を支払う支援となっています」
35%…サプライチェーン、乳業者、テスコへ
65%…私たちの熱心な英国酪農家へ



牛乳乳製品売り場外でのプロモーション



Every
bowl helps
British
dairy
farmers

「全てのボウルは、英国の酪農家を支援します」



To find out more visit tesco.com/milk



牛乳乳製品の売り場で意識しなかった消費者が、他の売り場でこのプロモーション活動に気付くために、別バージョンでもアピールしている。



英国在住で酪農乳業界に精通している藤原氏の逐次通訳により、現地調査の質が高まった。



午前と午後の2部に分けて、TESCOの酪農研究所と本社酪農部門についてのプレゼン&ディスカッションを行った。

③ 主要な議論

1. TSDGの内容と契約

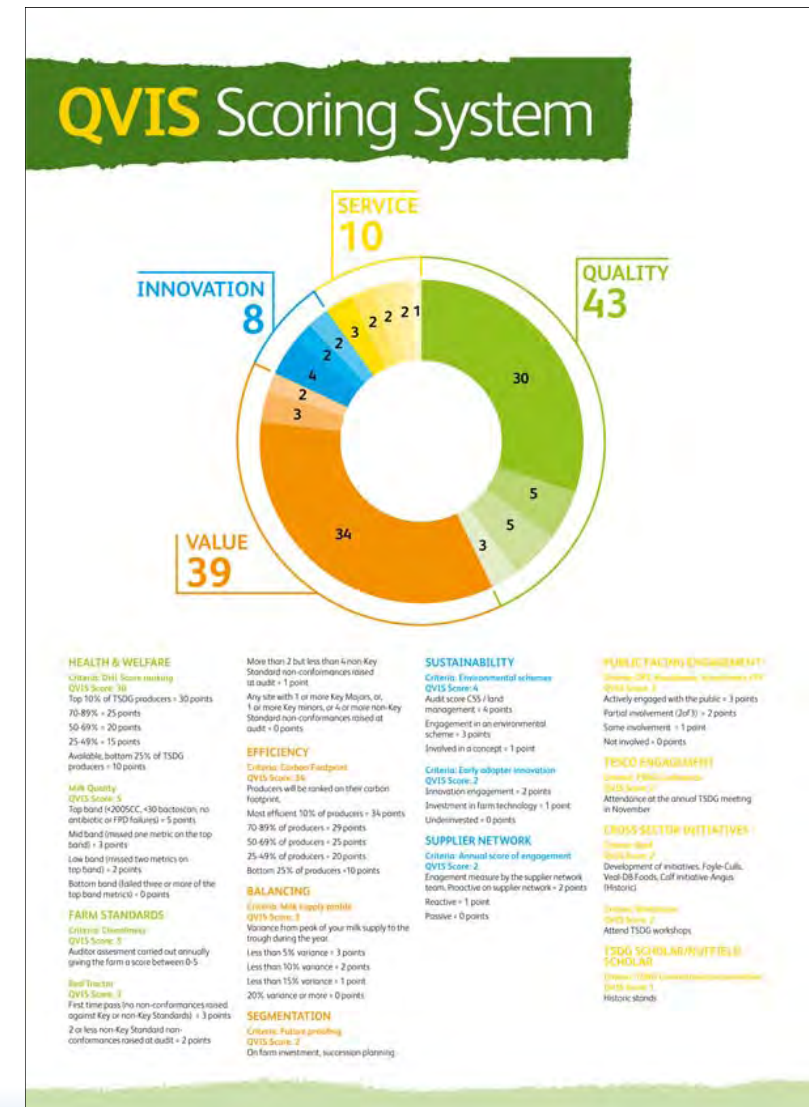
- TSDG : TESCO Sustainable Dairy Group
- TESCO と Aligned Contract を交わした酪農家のグループ。TESCO が必要とする飲用乳、クリーム向に仕向ける年間110万トンを生供給。
- 当初は乳質を高めるための Farm Assurance Scheme の認証を得た600戸で開始。生産カーブで不足する分については別に200戸の季節契約農家と契約（200戸は認証農家ではない）。
- 800戸の酪農家は一戸当たり平均180頭の搾乳牛を飼育、年間8500L/頭の生産性。
- 800戸で140万トン生産。110万トンはTESCO向け、残り30万トンは乳製品向けに出荷。
- TESCO向け乳価（28～30ペンス）は生産費基準（乳製品向乳価は市場価格（20～22ペンス）⇒乳価差は8ペンス/L程度。
- 生産基準は、Red Tractor Dairy と Livestock Practice の基準をクリアが必須。
- TSDG は定められた方式での生産を示し消費者の信頼を得るための活動。TESCO にとってはイメージ戦略の一環。
- 2015年11月にグループ会議で制度・基準を見直し、2016年9月から新基準へ変更。
 - 後述する QVIS を採用
 - 200戸の季節契約農家との契約を解除、新たに150戸の農家と契約し、グループは750戸。750戸すべてが生産コストの情報を提出。
- Promer社（農業コンサルタント会社）にて生産コスト情報を収集、経営分析、会計報告書作成実施。
- Promer社への費用はTESCOが負担。
- 農家個別の情報はTESCOには知らされず、TESCOはグループの平均値として生産コストを評価。
- 制度見直しにて、乳価決定を飼料価格の変化に合わせるよう6か月毎から3か月毎へ変更。

2. QVISによる評価

- QVISは、Quality、Value、Innovation、Serviceの頭文字でこの順に評価・判定。
- 2016年9月から採用。3か月ごとに自己申告で評価を実施（後日、監査人が赴き確認実施）
- バランススコアカードとして個別農家の評価に利用。
- TSDG全体の平均と比較し、成績の良い農家は褒章、悪い農家はサポートの上、改善なきは再契約せず。
 - QVISにてトップ5%の農家には次年度の生産枠を100トン追加。
 - ボトム5%にはサポートを行い、3か月で改善されなければ、その3か月後には契約解除。
 - 年に1回の判定。
- サポート（指導）体制
乳質：乳業メーカー、アニマルウェルフェア：リバプール大学、会計面：Promer
- Quality：乳質、家畜の健康（DHI）、アニマルウェルフェア、環境美化などを評価。全体評価中38%のウェイト。
- Value：生産効率、カーボンフットプリントなどを評価。34%のウェイト。
- Innovation：持続可能性、効率化のための投資活動、後継者確保などを評価。
- Service：消費者へのメッセージ発信に対するサポート、TESCO主催の経営改善のための会議への出席率などを評価。

2. QVISによる評価

- 配点、評価重点箇所等は、参加農家も入ったTSDG委員会にて決定。
- このシステムは今年度（2016年）からなので、まだ契約解除になった農家はない。
- 5年ほど回していくことにより、全体のレベルアップを期待。
- 全体の水準がTESCOの求める水準になればボトムカットはしない予定。
- 現状はトップとボトムで9ペンス/Lほどの生産コストの差。
- TSDGに入りたいというウェイティングリストは十分あり、乳量確保の心配なし。
- 新規契約者についてはリクルートメント・スコアカードにて評価し、成績上位者から契約。



3. 生産コストと乳価

- TSDGの乳価はグループの平均生産コストと同価
- 生産コストは生乳生産に係る部分のみ
- 家族労働費・副産物収入などが利益
- 平均以上に効率化することで収益性増加との考え方

2016年4月～2017年3月乳価

項目	単価 (pence/L)	適用
変動費	15.54	飼料、授精、敷料、薬品、種苗、肥料等
間接費	11.29	光熱・燃料費、補修、雇用、保険、賃料、利子等
減価償却	1.88	
小計 生乳生産費	28.71	
費用調整	-0.10	年間での飼料・燃料・肥料の価格変動
合計	28.61	運賃含まず

4. MMB 解体との関係

MMB解体がTESCOに酪農取引参入を選択させた

環境変化の認識
MMB解体→価格乱高下→乳価・市場価格下落→生産量減



現状認識
市場任せでは必要乳量確保ができない
英国の消費者は酪農への強い思いを持っている



事業継続・消費者対応を考え現行の取り組みにつなげた
MMBが解体されなければこのような取り組みは行わなかった

④ 調査先の概要

英国での乳価の大幅下落から酪農家がデモンストレーションを行い、消費者は安い牛乳を販売する流通にも責任があると反応を示したことなどを契機に、2008年9月に設立された。

設立趣旨は、業界が協力して酪農生産者の経営水準を上げ、乳のサプライチェーンが可能な限り公平で効率の良いものであるよう保証することができるよう調査・研究を行う施設。リバプール大学と英国大手流通TESCOが協働して設立し、2008年9月～2014年まで契約。その後さらに3年間延長されている。原資はTESCOと協賛団体が出資。



【視察した施設】
Tesco Dairy Centre of Excellence
University of Liverpool, Faculty of Veterinary Science, Wood Park Farm

終了後、TESCO農業部門マネージャーのニック・パーソン氏とロブ・スミス氏と記念撮影。